

平成 24 年北秋田市議会 3 月定例会行政報告

北秋田市議会 3 月定例会が開催されるにあたり、12 月 6 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

今冬は降雪量が多く、12 月 30 日には「北秋田市災害警戒部」を、1 月 30 日には午前 8 時時点の積雪深が鷹巣 121 cm、米内沢 114 cm、阿仁合 145 cm、比立内 168 cmとなったことから、地域防災計画に基づき平成 17 年 12 月 28 日以来となる「北秋田市災害対策本部（雪害）」を設置し、民生児童委員のご協力を得ながら高齢者世帯等の訪問・間口除雪、雪の事故防止啓発、雪害発生状況の把握等、対応しております。

合格者採用辞退に伴う今年度 2 回目の職員採用試験（初級消防吏員）については、31 人の応募があり、2 月 4 日に試験を実施し、2 月 16 日に合格者 2 人を告示しております。

<総合政策課関係>

平成 22 年国勢調査の「小地域集計」が 1 月 31 日に公表され、町名や字など調査区ごとの男女別人口、世帯数を、総務省統計局ホームページ等で確認できるようになりました。

市勢要覧については、これまで資料の数値等を更新しながら増刷してまいりましたが、今回は写真等を含めページ構成を一新しております。

<内陸線再生支援室関係>

J R 東日本の時刻改正に合わせた内陸線のダイヤ改正概要が 2 月 17 日に発表されました。改正では、J R 列車接続のため朝夕の通勤通学時間帯の列車時刻が改正されるほか、経営改善の一環として利用者の少ない列車の廃止や急行列車の時間帯と編成の見直し（単車化）が行われます。

また、内陸線で通学する高校生や保護者から要望があった朝の通学列車の2両化（増結）については、阿仁合駅6時41分発の列車が2両運行される予定で、運行時間の調整と合わせ通学利用の利便性が図られます。

財 務 部

〈財政課関係〉

平成23年11月16日から平成24年2月10日までの工事等発注状況（500万円以上）は、次のとおりとなっております。

工事等発注一覧表 ※ 500万円以上（消費税含む）			
平成23年11月16日～平成24年2月10日			
工事名（業務名）	契約年月日	契約額 （千円）	請負業者名
住民情報系システム追加機器	H23.12.16	11,422	(株)アイシーエス秋田支店
財務部 1件		11,422	
クリーンリサイクルセンター2号炉炉出口耐火物補修工事	H23.12.22	8,977	エスエヌ環境テクノロジー (株)東京支店
市民生活部 1件		8,977	
ささえ子ども手当システム（特別措置法対応）変更業務委託	H23.12.19	7,090	日本電気(株)秋田支店
多項目自動血球分析装置 他	H23.12.22	12,705	(株)中央科学
地域包括支援センター支援システム構築業務委託	H24.1.26	5,691	(株)アチカ
健康福祉部 3件		25,486	

面整備工事（鷹巣処理区その4）	H23. 11. 24	13, 954	(株)大川建設
面整備工事（鷹巣処理区その5）	H23. 11. 24	44, 415	(株)津谷組
排水維持工事（市道 元軌道鷹巣線）2工区	H23. 12. 16	24, 412	(有) 丸栄建設
排水維持工事（市道 元軌道鷹巣線）1工区	H23. 12. 26	9, 765	(株)芳賀工務店
河川災害復旧工事（準用河川 田沢川 右岸）	H24. 1. 26	5, 722	(有) 畠山重機工業
河川災害復旧工事（準用河川 黒沢川 左岸）	H24. 1. 26	5, 943	(有) 千葉建設
河川災害復旧工事（準用河川 田ノ沢川 右岸）	H24. 1. 26	6, 116	(有) 千葉建設
河川災害復旧工事（準用河川 田沢川 左岸）	H24. 1. 26	5, 964	(有) やまこう
河川災害復旧工事（普通河川 今泉川 左右岸）	H24. 1. 27	7, 192	(株)芳賀工務店
河川災害復旧工事（準用河川 黒沢川 右岸）	H24. 1. 27	6, 174	(有) ビルド・ミヤノ
河川災害復旧工事（普通河川 今泉川 左右岸）	H24. 1. 27	13, 020	(有) 松尾土木
河川災害復旧工事（普通河川 今泉川 右岸）	H24. 1. 27	15, 267	(株)津谷組
河川災害復旧工事（普通河川 真木屋川 左右岸）	H24. 1. 27	13, 125	朝日建設（株）
河川維持工事（準用河川 雪田沢川）	H24. 2. 9	5, 916	(有) 工藤設備工業所
建設部 14件		176, 985	
農業災害実施設計書作成業務委託	H23. 12. 16	8, 715	(株)矢留測量設計 鷹巣営業所
農業災害復旧工事（14工区）	H24. 1. 26	6, 300	(有) 千葉建設
農業災害復旧工事（1工区）	H24. 1. 27	37, 695	朝日建設（株）
農業災害復旧工事（10工区）	H24. 1. 27	13, 072	(有) 長岐建設
農業災害復旧工事（13工区）	H24. 1. 27	15, 277	(有) 丸栄建設

農業災害復旧工事（22工区）	H24.1.27	17,325	秋田機械建設(株)
産業部 6件		98,384	
合計 25件		321,254	

<税務課関係>

平成24年1月末現在、市税等の収納状況は、次のとおりとなっております。

【単位：円，%】

税目		調定額	収入済額	収納率	前年同
市民税	現	915,294,500	726,629,978	79.39	79.88
	滞	66,079,622	13,037,894	19.73	18.47
法人市民税	現	152,388,800	161,101,200	105.72	101.55
	滞	3,269,300	365,000	11.16	24.13
固定資産税	現	1,502,980,300	1,441,706,640	95.92	95.93
	滞	165,673,580	24,503,337	14.79	10.55
交付金		55,785,100	55,785,100	100.00	100.00
軽自動車税	現	71,963,800	70,226,600	97.59	97.45
	滞	4,935,985	848,711	17.19	15.21
市たばこ税	現	187,152,357	187,152,357	100.00	99.54
入湯税	現	2,360,700	2,324,700	98.48	86.91
国民健康保険税	現	606,061,400	455,412,158	75.14	75.87
	滞	196,690,635	34,861,986	17.72	11.01
計		3,930,636,079	3,173,955,661	80.75	79.60

市民生活部

〈生活課関係〉

空間放射線量の測定については、1月26日から「北秋田市環境放射線量測定実施要領」に基づき測定を開始しており、測定の結果は、秋田県内の通常レベルの範囲内でありました。なお、測定数値については市庁舎本庁、各庁舎に掲示するとともにホームページで公表しております。

ごみ問題については、1月以降、市内の婦人団体とごみ処理の現状と課題等について意見交換を実施しており、今後も市民や各種団体等の協力を得ながらごみ行政に反映させてまいります。

1月7日、阿仁ふるさと文化センターにおいて、北秋田地区交通・防犯指導隊連合会の安全祈願式及び観閲式を開催しました。祈願式では平成24年中の各種活動の安全を祈願し、観閲式では服装や規律について市長の観閲を行い、市民のための安全安心なまちづくりに努めていくことを確認しました。

市民提案型まちづくり事業については、2月20日に23年度に採択された3団体と事業報告会を開催し、意見等については平成24年度事業に反映させてまいります。

クリーンリサイクルセンターの平成23年4月から平成24年1月末までのごみ搬入実績は、10,442トン（内北秋田市分94%、約9,787トン）で、前年度に比較して167トンの減少となっております。また、市内及び上小阿仁村の小学校13校286名、一般2団体23名が施設見学に訪れ、ごみ処理やごみの分別について理解を深めました。

〈市民課関係〉

平成24年1月末現在の住民登録者数は、36,515人で、その内訳は男17,101人、女19,414人、世帯数は14,474世帯となっております。

一般旅券（パスポート）交付件数は、平成23年11月から平成24年1月末まで86件となっております。

国民健康保険では、インフルエンザの予防や重症化防止のため、健康推進課で実施している接種対象者のほか、64歳までの被保険者についても範囲を広げて、インフルエンザワクチンの接種費用を補助しております。市内の医療機関で3月末までに接種した場合に限り、1回につき1,500円を接種回数分補助するもので、12月末現在で延べ1,036人へ1,554,000円を補助しております。

健康福祉部

<福祉課関係>

障害者自立支援法による自立支援給付事業は、平成23年12月末現在で介護給付201人、訓練給付96人、旧法施設支援5人、自立支援医療587人が利用しております。また、地域生活支援事業は、日常生活用具88人、コミュニケーション支援2人、日中一時支援35人の利用となっております。

障がい者相談支援の拠点となっている障害者生活支援センターの1月末現在の延べ利用者数は、来所3,486人、訪問908人、電話相談1,388人となっており、多くの方々に利用されております。今後も関係機関や地域との連携により、実施事業の充実、拡大を図ってまいります。

平成24年度の保育園入園申込みについては、1月26日現在、公立7保育園472人（定員626人）、私立4保育園378人（定員360人）の申込みがありました。1月末に入園審査を行い入園予定児を決定しました。

子ども手当2月定期払いについては、対象者1,793名に支給しております。

虐待防止等総合支援地域協議会については、要保護児童支援部会、高齢者支援部会、障がい者支援部会からの報告と関係機関との情報交換により虐待防止に対する連携と意識の向上が図られております。

北秋田市ハートフル倶楽部については、12月10日、大館能代空港ターミナルビルのレストランを会場に15人（男性8人、女性7人）の参加で、ライトアップされた空港で交流を図り、マッチング・チャンスでは、2組のカップルが誕生しました。

福祉避難所の整備については、12月27日、市役所において福祉避難所協定調印式が行われ、市内福祉法人等8団体の福祉関係23施設を、災害発生時における要援護者の二次避難所に指定しております。

<高齢福祉課関係>

平成24年度からスタートする「北秋田市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画」の策定については、高齢者福祉・介護保険事業運営委員会を5回開催し審議していただきました。委員会では、第4期計画の評価・分析を行い、また、住民やケアマネジャー等からのアンケート調査の結果や入所待機者数などをもとに、今後3ヶ年の給付費及び必要介護保険料額を見込み2月7日に市長に答申しました。市では、それを受け今議会に条例改正案を上程しております。

福祉の雪事業については、本年度は1,344世帯（2月8日現在）が登録しており、18年豪雪の1,239世帯を上回る登録数となっております。これは、昨年度より132世帯多く、世帯の構成では、一人暮らしの高齢者世帯は860世帯、高齢者のみの世帯は429世帯、その他の世帯は55世

帯となっております。また、12月から1月末までの作業実績では、利用があった世帯は835世帯、延利用回数は8,943件となっております。作業額は28,981,825円、扶助費は20,524,012円で、40,000円の限度額利用世帯は165世帯となっております。

家族介護支援事業(地域支援事業)については、在宅で要介護者等を介護している家族に対しヘルスチェックや健康相談、レクリエーションや介護者相互の情報交換を通して心身の健康や介護の継続を図ることを目的として在宅介護者交流会を開催しております。今年度は市内3箇所で開催し、男性も含め31名の参加がありました。

ひまわりの家については、利用者向上対策として平成21年度から取り組んでおります年末年始の臨時営業については、本年度は12月30日から1月2日までの4日間で371人の方々が正月気分を満喫しながらご利用くださいました。

<医療推進課関係>

北秋田市民病院の利便性については、11月30日、「北秋田市民病院運営連絡協議会」を開催し、市民からの要望等について協議を行いました。また、療養病棟の機械浴室及び正面玄関東側の屋根、防風スクリーンの設置、並びに誘致薬局関係についての報告もありました。

旧北秋田市上小阿仁村病院組合から引き継ぎました医療過誤控訴については、平成23年12月21日仙台高等裁判所において判決が出され、その内容は1審同様訴えを棄却するものでありました。その後、上告がなかったことから平成24年1月5日をもって判決が確定し、本裁判はすべて終了となりました。

北秋田市民病院と最寄りの調剤薬局間の冬期における患者輸送については、昨年度同様北秋田市社会福祉協議会に車両運行をさせていただいており、3月31日まで運行予定となっております。

<診療所関係>

12月末までの各診療所の運営状況について、報告いたします。

阿仁診療所については、外来患者数は、16,902人(1日平均82.9人)で、内科8,457人、外科8,445人となっており、保険別の内訳は、国民健康保険加入者3,352人(19.8%)、社会保険加入者1,906人(11.3%)、後期高齢者医療保険加入者11,464人(67.8%)、その他180人(1.1%)で、前年同期比較で4人が減少しております。

また、歯科の外来患者数は3,013人(1日平均16.6人)で、前年同期比較で96人の減少となっております。

米内沢診療所については、外来患者数は、25,059人(1日平均122.8人)で、内科18,055人、小児科1,563人、整形外科4,054人、脳血管外科1,176人、心臓血管外科211人となっており、

保険別の内訳は、国民健康保険加入者 7,558 人（30.2%）、社会保険加入者 5,673 人（22.6%）、後期高齢者医療保険加入者 10,967 人（43.8%）、その他 861 人（3.4%）となっております。

合川診療所については、外来患者数は、12,284 人（1 日平均 56.3 人）で、保険別の内訳は国民健康保険加入者 2,279 人（18.6%）、社会保険加入者 878 人（7.1%）、後期高齢者医療保険加入者 8,875 人（72.2%）、その他 252 人（2.1%）で、前年同期比較で 152 人が減少しております。

今後も、地域住民の健康を守るとともに安定した経営のため努力を続けてまいります。

<健康推進課関係>

12 月 9 日、医療団体との業務協議会が北秋田市保健センターで開催され、行政と各医療・保健関係機関との情報交換が行われました。

成人検診事業については、1 月末現在で特定健康診査の結果、動機づけ支援対象者は 248 人、積極的支援対象者は 73 人となっており、特定保健指導実施者数は動機づけ 19 人、積極的支援 8 人の合わせて 27 人を実施しております。がん検診推進事業の無料クーポン券による受診は、乳がん 277 人、子宮頸がん 159 人、大腸がん 482 人、胃がん 147 人となっております。

また、65 歳以上の介護予防健診から、特定高齢者となった方を対象に運動機能向上・口腔機能向上・栄養改善・閉じこもり予防等の介護予防事業を実施しており、延べ 1,490 人の参加となっております。

介護予防ボランティア講座は 12 月 20 日終了し、5 回実施し延べ参加者は 98 人、うち新規受講者で全回数受講者 1 名に認定証を交付しております。生活習慣病予防事業については、すこやか健康講座を 5 回開催し、236 人の参加がありました。

心の健康づくり・自殺予防事業については、11 月 19 日、森吉コミュニティセンターにて「いのちをつなぐ取り組み」を開催し、55 人の参加がありました。対面型相談支援事業は 1 回平均 1 名の相談があり、うつ病・産後うつ症状・社会不適應等に悩む方々に対応しております。また、電話相談支援事業は民間団体に委託し、30 人の相談報告を受けております。ふれあい相談員の養成講座については、3 名の方が新しく相談員となりました。

肺炎球菌ワクチン予防接種については、1 月末現在で 233 人、インフルエンザ予防接種については、1 月末現在で 6,711 人が接種を受けており、それぞれ接種費用の一部及び全額公費助成を行っております。MR ワクチン（麻しん・風しん）予防接種については、1 月末現在で 871 人が接種を受けております。

母子保健事業については、母子健康手帳交付数が 1 月末で 161 人、母体健康増進事業としての妊婦健診受診券も併せて交付しております。出産を迎える夫婦のマタニティ講座も 1 月末で 7 回終了し、38 組 72 人が受講され、乳児と保護者の参加も 13 組 27 人となっております。

フッ素洗口事業については、1 月末現在で小学生 1,372 人、中学生 642 人、保育園・幼稚園児 204 人の実施となっております。

献血実施状況については、1月末現在で成分献血43人、全血献血665人となっております。

産 業 部

〈農林課関係〉

平成24年産米の生産目標数量については、昨年末に国から県に443,640トン、県から当市に17,699トンが提示され、面積換算値で3,283.67haであります。平成23年産米の配分より61トン(0.3%)の増加となりました。

これに基づき、1月17日に北秋田市農業再生協議会を開催して、JA鷹巣町に9,656トン、JAあきた北央に7,918トン、市内主食集荷商業者に125トンを生産目標数量の配分方針として示しております。JAあきた北央では、2月13、14日に各集落代表に説明会を開催、JA鷹巣町では、2月23、24日に管内農家に対して生産目標数量を提示して米生産農家の協力を願ったところです。

昨年6月以降発生 of ゲリラ的集中豪雨農業災害120箇所の復旧事業については、昨年末に4箇所が完成、現在63箇所を発注済であります。残りの53箇所については早急に発注して、3月末の完成や一部繰越地区についても農作業に支障のないよう完了予定であります。

また、今冬は例年になく大雪となり、園芸用ビニールハウスの倒壊が相次ぎ、これまで約70棟の被害が発生し、その復旧等について県を始め関係機関等と協議をしているところです。

次に、林業関係ですが、伐採、造林、保育等、適切な森林整備を推進するため5年ごとに作成する北秋田市森林整備計画の変更については公告縦覧を終え関係機関と協議中です。

また、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律に基づく、公共建築物等における地元産木材の利用促進のため、北秋田市木材利用促進基本方針を年度内に策定予定です。

公有林整備事業については、市有林の育成整備を図るため、造林、下刈り、間伐等40haを1月に完了し、良質材の生産と森林資源の有効利活用を図っております。

また、地球温暖化対策のため、間伐整備により森林の二酸化炭素吸収量を増進させ、この増加分をクレジット化するJ-VER制度について、環境省への申請手続きを行っており、3月中にクレジット発行の予定です。

林道災害復旧事業については、6月の災害による2路線2箇所の工事が12月末に完成しております。8月災害による4路線6箇所の工事については3月発注予定です。

<商工観光課関係>

鷹巣地区中心商店街の活性化を図ろうと、12月13日から2月4日まで「第4回北秋田きらきらフェスティバル2010」を北秋田市商工会青年部きらきらフェスティバル実行委員会が、米代川児童公園のSLライトアップ、樹木の電飾キャンドルナイト、クリスマス仮装パレードなどを行い、商店街に活気を呼び込みました。

1月18日に秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会に出席し、首都圏企業に対して積極的にトップセールスを行いました。北秋田市で操業する企業の親会社10社16名の参加があり、本社のトップと懇談し業界の動向や今後の事業展開などについて情報交換を行い、市内での更なる事業拡大を呼びかけました。

1月19日に首都圏企業立地協力推進懇談会を東京都で開催し、委員である市出身の企業関係者やふるさと会の皆さまより企業誘致活動についてご提言をいただきました。

1月27日には、当市の合川精密の親会社であるシチズン時計河口湖(株)主催の「時計まつり」で、物産の販売のほか観光PRを行いました。

2月6日に、中心市街地活性化検討委員会より内容をまとめた報告書が提出されております。

北秋田市の地域資源である「珪藻土」が、地域産業資源として国の認定を受けました。また、市民目線で活用策を検討する「珪藻土の利活用市民分科会」も開催しております。

観光振興関係については、1月2日、新春恒例「大太鼓叩き初め」が大太鼓の館で行われ、市の発展や施設の無事故を願い豪快な太鼓の音で来場者を魅了しました。

森吉山の樹氷鑑賞が1月7日～3月11日の日程で始まり、大勢の見学客がアオモリトドマツの樹氷群と幻想的な白銀の世界、大自然の素晴らしさを堪能しております。

1月7日～8日には、高津森クロスカントリースキー場で第24回森吉山スキー大会及び2012マスターズスキー大会が開催され、市内外からエントリーした141人の選手が家族らの力強い声援を受けながらゴールを目指し力走しました。

1月15日には、大韓スキー協会パク副会長が、2018年に韓国で開催される冬季五輪の関係で森吉山阿仁スキー場を視察に訪れました。北秋田市としては、阿仁スキー場の魅力を売り込み誘客促進を図る取組みを強化してまいります。

2月9日には、秋田デスティネーションキャンペーンの推進組織の設立総会がありました。平成25年のDCに向けて観光キャンペーン等の実施、受入体制の構築等、観光面全体での底上げをはかり、「魅力ある北秋田市」を作り上げてまいります。

2月11日～12日には、第18回鷹巣もちっこ市が大太鼓の館駐車場、特設テントの会場で開催され、手作りの餅や各種特産品などを買い求める大勢の人で賑わい、好評を博しました。

2月25日～26日には、第24回森吉山スキー大会、第13回森吉山スラローム大会(アルペン・大回転競技)が森吉山阿仁スキー場で開催され、多数の参加者のもと熱戦を繰り広げました。

建設部

<都市計画課関係>

薬局建設予定地を除外する北秋田市民病院の都市計画の変更について、2月20日開催の市都市計画審議会で審議が行われ、異存ない旨の答申がありました。

住宅リフォーム緊急支援事業については、2月10日現在で補助金交付決定数408件、交付決定額59,667千円、対予算比92%の執行となっております。

<建設課関係>

除雪については、平成18年以来の豪雪となり、早朝一斉出動回数は、1月の段階で113回と昨年度の96回を上回っている状況であります。市民の安全・安心のため、幹線道路・生活道路・通学路の確保に努めてまいります。

地域活性化交付金（きめ細かな）事業については、道路・側溝・舗装等維持工事の天甫通～横町線ほか8路線9件を発注し、大町～西中岱線ほか5路線6件が完成しております。

災害復旧事業については、馬屋沢川ほか5河川16件、綴子～小田線ほか4路線7件を発注し、早期完成に向けて復旧工事を進めております。

<上下水道課関係>

簡易水道事業については、綴子地区簡易水道配水池増設工事が完成しております。

地すべりの発生により平成14年から休止していた小又地区（迂途坂、冷水、長坂）の農業集落排水事業については、12月2日小又自治会館で地元説明会を開催し、この地区における生活排水処理は農業集落排水事業から浄化槽設置整備事業とすることで事業の見直しについてご理解をいただきました。

公共下水道事業における工事の発注状況については、鷹巣処理区において綴子字田中及び佐戸岱地内で面整備工事2件を発注しております。

浄化槽市町村整備推進事業（阿仁地区市町村設置型）については、阿仁萱草地内において5人槽2基が完成しております。

消防本部

〈常備消防関係〉

全国共済農業協同組合連合会秋田県本部からの高規格救急自動車の寄贈については、12月27日、秋田県庁で贈呈式が行われ、同日、市消防署に納車されました。JA鷹巣町及びJAあきた北央への答礼訪問と無線設備の旧車輛からの引き継ぎ作業等を経て、新車輛は28日から運用開始されております。

秋田県ドクターヘリは、本年1月23日に運航開始式が行われました。同日現在、当市内には、追加指定箇所を含め38箇所がヘリのランデブーポイントに指定されており、12月21日には、市民病院ヘリポートを使用して、消防本部と市民病院が参加した訓練が行われております。

昨年下半年（7月から12月）の管内の火災発生は、12件（昨年同期比4件増）で、内訳は、建物火災9件、車両火災1件、その他火災2件となっており、建物火災では住家2棟が全焼し、火災による死傷者は3人となっております。

同期間の救急出場は764件（昨年同期比8件増）で、内訳は、急病552件（全体の72.3%）、一般負傷82件、交通事故64件、転院搬送37件などとなっております。救助出場は40件で、内訳は、交通事故31件、機械事故とその他事故をあわせて9件となっております。そのほか、捜索出動は3件でした。

さらに同期間中、防火対象物72件、危険物施設47件について、予防査察を行い消防法に基づく是正指導等を行っております。

当市内の緊急通報システムの設置台数は491台（=23年末現在・前年比8台増）で、23年中の受信件数は570件（前年比170件増）で、その内訳は試験通報323件、電源異常通報114件、誤報107件、救急要請と火災通報をあわせて23件（センサー通報を含む）、相談3件でした。

また、市民等を対象にしたAED（自動体外式除細動器）取扱要領を含む救命講習会を23年中に62回開催し、1,742人が参加しております。

〈非常備消防関係〉

市消防出初式は、1月4日、森吉コミュニティセンターから消防団員、婦人協力隊、消防関係車輛等の分列行進が始まり、観閲を経て、森吉スポーツセンターで式典が行われました。式典では、県知事有功章などの功労団員の表彰に続いて、櫻田有香さん（森吉中2年）が秋田県消防協会大館北秋田支部コンクールで最優秀賞を受賞した防火作文を朗読し、市民と一体になった火災予防の誓いを新たにしました。また、会場では、東日本大震災の罹災状況や消防活動が映像で流され、改めて防災活動の大切さが確認される式典となりました。

1月22日には、市内4地区（鎌沢・鷹巣摩当・米内沢・阿仁）で文化財防火デー（1月26日）に合わせた火災想定訓練が行われました。各地区で、神社仏閣などの文化財を中心にして、積雪期での協力した訓練が展開されました。

教育委員会

<総務課関係>

学校施設整備事業の主な工事としては、阿仁中学校旧体育館解体工事、鷹巣小学校屋根塗装工事、鷹巣南小学校耐震補強工事、森吉中学校屋根改修工事、これら4工事は昨年8月中旬に完成、鷹巣南中学校屋根塗装工事、米内沢小学校プール解体工事が9月から10月にかけて完成しております。

米内沢小学校改築工事については、今年度の予定工事が順調に推移しており、目標の進捗率10%を達成する見込みであります。

あきたりフレッシュ学園の利用状況については、生徒一人ひとりがそれぞれのペースで自然体験や農作業体験等さまざまな体験を通じて心と体のリフレッシュを図っております。生徒は、県内の小中学生が9名、高校生が1名、県外からは小中学生2名で、計12名が利用しており、その内北秋田市からは3名となっており、23年度の月平均利用日数は20日前後となる見込みであります。

<学校教育課関係>

第55回全県中学校スキー大会が田沢湖スキー場で行われ、男子5キロクラシカルで木村壮志さん（合川中3年）が1位、5キロフリーでは佐藤大星さん（鷹巣中2年）が2位、女子3キロクラシカルでは藤田菜々瀬さん（合川中2年）が2位、3キロフリーでは佐藤葵さん（阿仁中2年）が2位に入ったほか、男子リレーで鷹巣中が3位、女子リレーでは合川中が1位になるなど市内の選手が大活躍しました。

第48回東北中学校スキー大会では、木村壮志さんが5キロフリーで2位、藤田菜々瀬さんが3キロクラシカルで3位、佐藤葵さんが3キロフリーで2位、第49回全国中学校スキー大会では木村壮志さんが5キロクラシカルで3位入賞を果たすなど活躍が光りました。

小学校においても、1月29日の市民スキー大会をはじめとして、校内スキー大会や各種スキー大会が行われ、参加者は冬場の体力づくりに励みました。

小・中学校はまもなく卒業・入学のシーズンを迎えます。

平成 23 年度の市内小・中学校及び幼稚園の卒業（園）予定者は、小学校 276 人、中学校 292 人、幼稚園 6 人で、将来への大きな期待を胸に思い出に満ちた学舎を巣立ちます。

平成 24 年度入学（入園）予定者は 1 月 5 日現在で小学校 228 人、中学校 276 人、幼稚園 5 人で希望に満ちた春を迎えます。

<生涯学習課関係>

平成 24 年の文化財防火デー火災想定訓練が、1 月 22 日、合川地区鎌沢にある「正法院」で実施されました。これは、北秋田市において地域ぐるみで防火運動を展開し、文化財を火災や震災から守るため、文化財愛護思想と防火意識を高めることを目的に毎年各地区を巡回実施しているもので、地元消防団や消防署員による初期消火訓練や送水訓練が行われました。

2 月 7 日、胡桃館遺跡調査検討委員会が行われました。昨年 2 月の検討委員会の発足に続き実施されたもので、委員 5 名と県の担当者の出席をいただき、今後の長期計画についての助言や、遺跡の保存や利活用等についてご意見をいただきました。

2 月 13 日、「教育講演会 i n 北秋田市」が文部科学省生涯学習政策局社会教育課より講師を迎え、県立秋田北鷹高校を会場に開催されました。学校関係者をはじめとして市民の参加もあり、「震災をとおり学校と地域の絆を語る」を演題として、子どもを地域全体で見守り育てる連帯意識を高めるために、今、必要とされている学校と地域の絆とは何かについて講演がありました。

各公民館で開催していた定期講座については、順調に運営され、2 月末をもって閉講となりました。受講生は、それぞれの成果をもとに新年度に向けての新たな活動に意欲を持って取り組んでいるようです。

各地区の高齢者大学においても、それぞれの学習活動のしめくくりとして全体講座を開催し、お互いの交流を深めながら生きがいをづくりをしています。

<スポーツ振興課関係>

11 月 17 日に、森吉地区夫婦バレーボール大会が、森吉総合スポーツセンターにて開催され、50 名が参加し夫婦の連携プレーと珍プレーで館内が熱気で盛り上がりました。

11 月 25 日に、北秋田市スキー大会組織・実行委員会が森吉コミュニティセンターにて開催され、今シーズンの大会日程と開催場所等について協議の上、決定されました。

12 月 22 日には、市営薬師山スキー場のスキー場開きが行われ、関係各位により今シーズンの安全を祈願しました。

1 月 8 日に、第 24 回森吉山スキー大会及び第 64 回大館・北秋田中学校スキー大会のクロスカントリー競技が、阿仁高津森スキー場にて開催され 133 名の選手が熱戦を繰り広げました。

1月29日、市営薬師山スキー場にて第5回北秋田市民スキー大会が開催され、小学生の部から一般男子、女子の部まで、アルペン・クロスカントリー競技合わせて297名の選手が参加し、市民の応援を受け寒さに負けず頑張る姿が会場の皆さんに感動を与えました。

2月5日、阿仁スキー場にて第64回大館北秋田中学校スキー大会・第57回北秋田市学童スキー大会のアルペン競技を、北秋田市空港周辺ふれあい緑地広場では、学童スキー大会のクロスカントリー競技が開催され、両会場合わせて280名の選手が、家族らの声援が会場に響く中、熱戦を繰り広げました。